

## 令和元年 8 月期月次景況調査結果

この調査結果は、中小企業庁の指定事業に基づいて設置された山口県内の情報連絡員 60 人に、本会が新たに選んだ 20 人を加えた 80 人の連絡員より業界動向を把握した結果です。

8 月の業種別景況の前月比 DI 値は 14 業種の内、好転が 1 業種、前年同等が 9 業種、悪化が 4 業種で、全体の景況感 DI 値も 7 月より悪化している。

商店街では夏のイベントに人出があった一方、運輸業ではお盆休暇が長かったことから輸送量が減少したとの報告があった。

山口県の中小企業は、多くの業種で人手不足が続いている。また、10 月の消費税増税後の消費低迷を懸念する声もある。

### 山口県の主要指標 DI 値（令和元年 8 月末現在）

※DI 値とは、前年同期に比べ「増加」・「好転」したとする企業割合から「減少」・「悪化」したとする企業割合を差し引いた値です。

業界の景況 ( < 好転 > - < 悪化 > = < DI 値 > )

前年同月比は、好転：6.3% 悪化：32.5% DI 値：▲26.2% ポイント

売上高 ( < 増加 > - < 減少 > = < DI 値 > )

前年同月比は、増加：10.0% 減少：40.0% DI 値：▲30.0% ポイント

収益状況 ( < 好転 > - < 悪化 > = < DI 値 > )

前年同月比は、好転：8.8% 悪化：37.5% DI 値：▲28.7% ポイント

### 山口県の業種別 DI 値(業界の景況)（令和元年 8 月末現在）

 30 以上	 30 未満～ 10 以上	 10 未満～ ▲10 以上	 ▲10 未満～ ▲30 以上	 ▲30 未満
--	--	---	--	---

食料品	織 維 工 業	木材・ 木製品	印 刷	窯業・ 土石製品	一 般 機 器	輸 送 機 器	全 製 造 業
▲28.6	▲25.0	▲33.3	▲100.0	▲16.7	▲22.2	0.0	▲27.3
							

卸売業	小売業	商店街	サービ ス業	建設業	運輸業	その他	全 非 製造業	全 体
▲20.0	▲33.3	▲75.0	▲18.2	▲20.0	▲14.3	0.0	▲25.5	▲26.2
								

## 特記事項（景況の変化とその原因・現状等、企業経営・業界での問題点）

食料品	お盆に台風接近との予報により、駅・空港などの公共交通機関内の店舗を閉店したところは売上が減少した。その他も来店客が著しく減少し、前年比でマイナスとなった。宇部地区では京都資本の大手菓子店の2店舗目のオープンがあったことにより、既存店が苦戦している。	パン・菓子製造業 山陽小野田市
	4月に値上げをしたので収益が好転している。働き方改革により有給を8月に集中して付与。	パン・菓子製造業 下関市
	売上は8/25時点の累計で対前年同月比▲5.3%。お盆の10～13日の前半は前年を上回る売上であったが、8月15日に接近した台風10号の影響で14日・15日・16日も大幅に客数が落ち、また台風影響により地物鮮魚が品薄高値だったことも売上にマイナスに影響した。8月28日・29日の集中豪雨も業績ダウンの要因。7月まで毎月対前年同月の売上をクリアしていただけに8月はやや残念な結果となりそう。	水産食料品製造業 萩市
	10月以降の消費低迷が懸念事項。システムなどの対応が大変面倒。運送費の値上げが高まり、非常に困っている。食品の値上げも続いているが、消費に結びつくかは不透明。	水産食料品製造業 下関市
	秋雨前線による長雨の影響で稲の生育に影響が出るなどの地球温暖化の影響に、企業経営における天候リスクがさらに高まってきている。台風もあいついで上陸しており、突然の自然災害へ対応ができるような、農産物の売り上げに関する保険制度の仕組みづくりが必要になってきている。地球温暖化をこれ以上進めないためにも、二酸化炭素を排出しないような社会づくりが重要となる。アメリカがパリ協定の離脱を表明するなど、二酸化炭素を排出しない社会づくりに厳しい状況が出ているので、電気自動車の普及対策や水素ステーションの充実などが必要となってきている。	精穀・製粉業
繊維工業	受注数量が、前年同月比でかなり減っており、業界全体的に少ない様子。9月以降の見通しが不安である。	外衣・シャツ製造業 萩市
	今のところ受注は順調である。昨年よりもやや設備操業度が上昇し、増産の傾向にある。	外衣・シャツ製造業 山陽小野田市
木材・木製品	地場工務店の仕事が殆ど無く、木材の需要が低迷している。このままでは木造住宅が廃れてしまう。	製材業・木製品製造業 岩国市
	消費税増税による駆け込み需要はほとんど無く、公共建築物建設による新規受注についても動きなし。	製材業・木製品製造業 下関市

印刷	夏の閑散期ということもあり、各社とも受注は低調であった。9月は、10月からの消費税アップによる駆け込み需要が期待される。	印刷 下関市
	夏季休業が長かったので設備操業度は低下し、また官公庁の受注も低迷したせいもあり売り上げが減少した。	印刷 山口市
窯業・ 土石製品	8月の出荷量は、 (平成30年8月) 骨材119%、路盤材148%、 再生材121% ↓ (令和元年8月) 骨材 65%、路盤材 74%、 再生材 95%	砕石製造業
	出荷量は、前月比102%、前年同月比102%。現時点では、セメント・骨材等の資材調達で、特に問題は生じていない。生コン販売価格は安定してる。	生コンクリート製造業
	10月の消費税増税に伴い仕事の依頼が来たが、原石の出荷量が極端に少なく、希望している事業所に行き渡らない為、仕事を受ける事が出来ない状況となっている。出荷量・納期が安定しないところとの取引をやめて、仕入れ先を変える事も検討している状況である。	石工品製造業
	8月、萩市内においては、先月同様観光客の減少と売上げの減少がみられる。先月にも増して各方面から非常に厳しい声が聞こえて来る。ギフト・卸関係・百貨店の受注は昨年同月と比較しやや減少、浅草アンテナショップ「萩の風」の売上げも減少している。このアンテナショップ「萩の風」も9月1日をもって閉店する事となった。3年9ヶ月続き、萩焼をはじめ、竹や大漁旗製品など萩の産品を首都圏や外国人観光客に紹介する重要な拠点となっていた。また当組合にとっても、最大の共同販売事業の場であり、重要な位置づけであったので、非常に残念。こういったアンテナショップの現状は、ブランド力の無い地域に於いては慢性的な赤字経営となっており、国や自治体からの補助金により運営を支えていかなくてはならないという構造的な問題がある。これからの組合活動としては、首都圏において「萩の風」に替わる新たな萩焼発信の場をつくっていくことが急務である。	陶磁器・同関連 製品製造業
一般機器	今年度は、前年同月比で特に状況に変化はないが、昨年同様に求人倍率が高く、新卒者の確保が困難で、人手不足が続きそう。	下松市
	依然として人手不足は深刻であり、外国人を含めた多様な採用を検討している。	周南市

	<p>8月の業界の景況は、7月とほぼ同様の推移である。自動車関連、県内の大型構造物を製作する設備関係、いずれも順調さは変わらず。国外のベトナム、マレーシアなど東南アジア関係の工事を受注する会社は、10月までは残業時間の規制範囲内で残業をこなしている。外交のみならず貿易、関税など米・中・韓との関係による影響が気になるところ。</p>	防府市
	<p>食肉加工、惣菜、自動車関係等実習生を受入れている全ての職種で業績は好調。残業も多く、36協定等法律の遵守を指導している。但し、米中貿易摩擦の影響か、機械加工で若干の業務量減少の傾向があり、11月入国予定が5月入国にずれ込んでいる。今後、日韓の貿易摩擦も含めどの程度の影響があるか状況把握に努める必要がある。介護職についてはインドネシアにおいて語学研修中で、来年1月及び3月の受入れに向けて準備をしているが、早期入国の要望及び増員の希望があり準備を進めている。制度改正に伴う、3号移行者の入国も順調で即戦力として活躍している。有効求人倍率の高止まりに伴い人手不足感が強まり、特定技能及び技能実習生は増員の傾向にある。特定技能については、登録支援機関の認可を得たので、12月に1期生受け入れの準備をしている。</p>	宇部市
	<p>中国経済悪化のため、今後は売上の減少が見込まれる。</p>	宇部市
	<p>韓国との関係悪化が影響している。</p>	下関市
輸送機器	<p>鉄道車両では輸出案件が生産の終盤を迎えてはいるが、輸出以外の案件も多くあり変わらずに作業量が多い状況が続いている。また、半導体も高い作業量水準が継続しており、産業プラント部門が少し減少気味ではあるが全体的に作業量には恵まれている状況。(前月同様)</p> <p>来春卒業予定の高校生の就職活動が始まったが、学校側からは売り手市場のため大手企業から多くの求人があったとのことで、中小企業の新卒採用が厳しい状況が分かってきた。今後の「人手不足の問題」が懸念される。</p>	鉄道車両・同部品製造業
卸売業	<p>ここ数ヶ月、冷凍倉庫が満杯の状態のため、売上が若干増加している。</p>	乾物卸売業
	<p>昨年と同様に猛暑が続き、飲料関連商品の売上が増加。</p>	各種商品卸売業
	<p>台風の影響により魚の入荷がない。</p>	生鮮・魚介卸売業

小売業	8月は台風や雨の影響で売上は前年よりも減少した店舗が多かった模様。9月は消費税の増税前であるが、売上が伸びるかは不明。また、日韓関係が良くないため、韓国からの観光客が少し減少した模様。	化粧品小売業
	8月中旬までは猛暑によりエアコンの売れ行きは好調であった。冷蔵庫も買い替えの需要があった。後半はその反動なのか、売上が落ちた。	機械器具小売業
	お盆の連休に台風など消費動向を大きく左右する事象が続き、飲食業は帰省客を中心に活況が続くが、物販・サービス業は購買行動が終わった後の時期にあたり、消費が下落傾向にある。税務署や官公庁による消費税増税にかかる広報は大きく立ち後れていて、レジ導入や経理対応など現場への指導は完全に見切り発車。とりわけ慌てている様子もみられない。大型台風は中国地方の東寄りを進んだ事もあり、岩国地域は平穏無事で、事故報告もなかった。しかし行政による避難情報は頻繁に発信され、一部には避難所の開設もあったが、利用実績は僅かだったという。関東方面への空路や列車の運行に影響が出て、やや混乱していた。	各種商品小売業 岩国市
	「数方庭祭」が1週間あったので、商店街への来客・販売増に若干繋がったようである。しかし、お盆休み中は、買い物客は郊外へと流出したため、月間の売上で考えると、厳しい所である。	各種商品小売業 下関市
	7月末に核の衣料品店舗が退店した事を受け、売上は大きくダウンし前年同月比で6割となった。当然9月以降も、こうした状況が続くものと思われ、今後の組合運営に支障をきたす恐れがある。	各種商品小売業 長門市
商店街	夏のイベントは例年並みの人出があり一安心ではあったが、日頃の人出は暑さのせいもありまばらであった。	宇部市
	夜市・七夕と大きなイベントが終わり一段落したところだが、イベントによる収益は無いので期待感はまだ無かった。そのような中で8月商店街の空き店舗に「ピザ屋」の出店があった。カレー屋、食堂に続くピザ屋の出店で「1人でも多くの来街者が増えれば良い」と多少の期待感がある。	萩市
サービス業	8月は盆前から台風の影響や、後半の秋雨前線により例年より天候の不順に悩まされたが、周南地区は地元企業の好調に支えられ、店舗数が増えているにもかかわらず、昨年どおりの売上を上げている。	美容業
	売上はお盆までは良かったが、以降は減少傾向にある。	理容業

	<p>公益財団法人やまぐち産業振興財団の山口県事業引継支援センター及び山口県よろず支援拠点から2名の担当者を招き、事業承継等の経営セミナーを開催する事としていたが、結局参加者が2名しか集まらなかったため、急遽、2名の方の個別相談会という形で進めたところ、事業承継に関し2名からは色々な相談があったようで、1名当たり相談時間が1時間を超える対応となるなど、貴重な相談会となった。なお、相談内容を詳しく聞くことはできなかったが、2名の相談者は担当者から満足行く回答が得られたとして喜んで帰られた。今回感じたことは、セミナーで多くの人を呼んで実施する事はそれなりに有効ではあるが、個人相談会的なものを企画する方が、特に事業継承やM&amp;Aといった内容に関しては、相手に受け入れやすいことなのかもしれないため、次回の参考にしたい。</p>	自動車整備業
	<p>人手不足が継続中。フィットネスは競争激化。</p>	スポーツ・健康教授業
	<p>昨年と比べ集荷点数は大きく減少し、それに伴い売上高も昨年同月比で減少した。お盆中盤より月末まで天候が悪く客足が減ったことが主な原因と考えられるが、一部の同業店では前年と同じもしくは前年を超える売り上げを出している店舗もあるので、自店のサービス内容など見直す必要があると考えられる。</p>	普通洗濯業
	<p>宿泊人員、売上とも前年並みで推移した。昨年は花博の関係で、「ワイルドバンチフェス山口」が7月に移行開催されたが、今年は例年通りの8月に開催された。また、2日間から3日間に延長されたため、相当な伸び率を期待していたが、「ワイルドバンチフェス山口」開催期間外の宿泊客が伸びなかったことが要因と考えられる。</p>	旅館業 山口市
	<p>夏休みで家族連れ及びスポーツ施設利用者の増加がみられる。しかし、天候不順により月末は利用者減となった。宿泊施設の減少により基礎的な入浴者が減少している。日帰り客への期待が高まっている。</p>	旅館業 長門市
	<p>夏休みで観光シーズンの真ただ中のお盆に台風接近によりキャンセルが発生し、減収となった。</p>	旅館業 下関市
	<p>お盆休みの同窓会等での来店が多かった。</p>	飲食業
建設業	<p>中電への工事申請91件(当支部分74件)、前年同月93件(同66件)。太陽光発電への申請25件(前年24件)、オール電化申請49件(前年47件)。LED街路灯への切り替え・新設申請6件(前年11件)であった。</p>	電気工事業

	春先からの工事量減少が回復し始めた。技能者数がこの20年間で大幅に減少（約6割）すると共に、多くの事業所で高齢化が進んでおり、今後事業の継続が困難となる同業者が増えるものと懸念される。	左官業
	全体の発注量としては減少しているが、従業員数が減り会社規模も縮小しており、比較的の小規模工事で忙しくしている。待機時間も就業時間等となるなど働く人の権利が強められたことや、他の業種も関わるような長期工事は、人員確保や工程管理が難しく採算も悪いので、辞退するケースも増えている模様。組合員企業も減少してきている。	管工事業
	瓦工事業者にとっての8月は、例年梅雨明け後の猛暑のため一番仕事が遣りにくくなる時期である。今年も例年通り暑い日が続き、仕事の能率を云々するところではない。従って仕事ははかどらず、完成工事高も低いのが実情である。おまけに相次ぐ台風の襲来で、泣き面にハチ。涼しい秋の訪れを首を長くして待っている。	屋根工事業
	先月は端境期で厳しい状況と話す組合員もいたが、今月は受注物件数、見積件数ともに若干増えており各社忙しくしている様子。	鉄骨・鉄筋工事業
	全般的には「悪いままの不変の状態」が続いている。作業員が依然として少ない状態で、災害工事が多く、農林関係の災害工事の入札では不調が続いている模様である。またその工事も、中型・大型工事の発注が少ない状況。働き方改革、「ITC施工」についてはお金もなく、人もいない中、関心が薄い状況である。	土木工事業 柳井市
	元年8月の受注高は、対前年同月比229.4%。今年度累計は、対前年比108%。	土木工事業 萩市
運輸業	本年度のお盆休暇は例年に無い長さで、地場、長距離の輸送とも激減し、輸出関係の輸送についても減少傾向であり、売上は前年同月比で45%の減少となった。燃料費は1円の値下げであったが、今月は輸送量の減少もあって値下げの効果は少ない。軽油引取税の軽減を願望する声が多い。	一般貨物自動車運送業 下松市
	輸送売上高は、前年同月比で10%程度増加し順調に推移している。上期はこのまま順調に推移するとの予想だが、下期は自動車関連が下方に向かうとの見通しが出ている。燃料費はこのところ横ばい状態で安定しており、前年同月比でも若干下がっている。	一般貨物自動車運送業 防府市
	物流の動きが非常に良い感がある。特に倉庫案件が非常に多く、自社倉庫もいっぱいな状況が続いている。自社倉庫建設中であるが、完成までは外部倉庫を借りて対応している。運送業もかなり活性してきている様子である。人員は減ってはいないが多忙の為、人員不足の状態が続いている。	一般貨物自動車運送業 宇部市

	<p>タクシーチケットの取扱い金額は、前年比▲6.6%（令和1年7月1日～令和1年8月20日分）。7月1日～31日分は▲5.0%、8月1日～20日分は▲9.5%。4月までは順調だったが、5月から大幅減少が続いている。当組合の取扱いタクシー事業者は、光市、下松市、周南市、防府市の地域。7月分については、周南▲5.5%、下松▲1.9%、光▲8.7%、防府市地区が▲4.2%で、組合員の全域では▲5.1%、地区外（員外）▲3.7%、合計▲5.0%（▲1,162千円）。7月分は、参議院選挙があった事、徳山夏祭りが雨天で中止になった事などの影響があると思われるが、得意先別の増減については、業種や地域による傾向はあまり無いように思える。全体として5月以降、大幅な減少。主要燃料であるLPGについては、CP（通告価格）と為替に連動して変動するが、CPが大幅に下がり（前月385.0\$/トンが今月357.5\$/トン、前年582.5\$/トン）、輸送用バンカーC重油は上がった。（前月385.0\$/トンが今月450.0\$/トン、前年463.0\$/トン）。為替は円安（前月109.12円/\$が109.28円/\$）です。燃料単価は前月比▲3.2%、前年7月分比は▲20.8%と下がった。タクシー乗務員は労働条件が厳しい（賃金が少ない）事もあって慢性的に不足しているが、労働条件の改善もあり、消費税増税に合わせて運賃改定が行なわれる予定だが、料金体系のとりまとめが遅れている。新運賃の申請手続きや、運賃メーターの変更に、ある程度時間がかかるので、10月1日までに間に合うのか、大変危惧されている。</p>	一般旅客自動車運送業
	<p>今月も、取扱高に大きな変化はなく推移した。</p>	港湾運送業
<p>その他 非製造業</p>	<p>営業活動が実を結び、ここ2ヶ月で組合加入が10社程度あった。また実習生をベトナム以外からも受入る予定があり、それに伴う通訳・事務パート雇用も考えている。新規加入組合・人員増員に伴う体制作りを今後進めて、より良いサービスの提供ができるよう取り組んでいこうと考えている。</p>	介護事業